



2025年12月期 **中間株主通信**

2025年1月1日～2025年6月30日



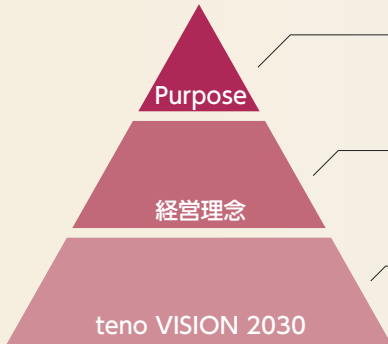
〔証券コード：7037〕

**株式会社テノ・ホールディングス**

# 株主のみなさまへ

## Purpose 存在意義

(キーメッセージ)  
わたし、選んで、生きていく。



「手の」ぬくもりで、安心できる社会を創造する。

私たちは、女性のライフステージを応援します。  
私たちは、相手の立場に立って考えます。  
私たちは、コンプライアンスを推進します。  
私たちは、事業を通して社会貢献致します。

時代に求められるサービスを提供する  
プロフェッショナル集団となり、  
働き手にとって最も自己実現が可能な  
家庭総合サービスグループを目指す。



## トップインタビュー

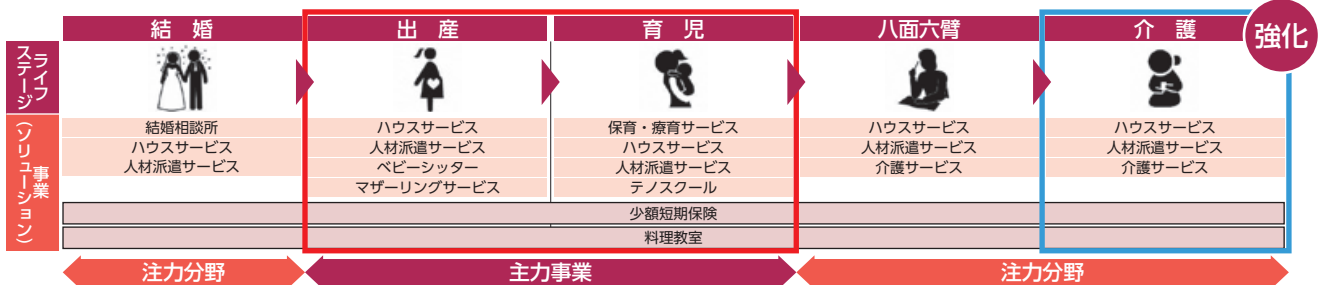
代表取締役社長 池内 比呂子

### Q 事業コンセプトと2025年12月期中間期の決算内容についてご説明ください。

#### ●事業コンセプト

当社グループは、“女性”が育児をしても、家事をしても、介護をしてもなお、働き続けるためには、「いったい何が必要なのか」を基本に事業展開してまいりました。豊かな社会を築くためには、あらゆる場面でさまざまな発想で多くの知恵を出すことが必要です。そういった「より私らしく」と願う女性たちに対してサービスを提供することを事業コンセプトとしております。

#### 女性が活躍する事業展開 ～育児・家事・介護をしても働き続けられる事業～



#### ●2025年12月期中間期決算内容

2025年12月期中間期の決算は、増収増益となりました。  
売上高は9,116百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益は288百万円（前年同期は1百万円の損失）、経常利益は282百万円（前年同期は8百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は134百万円（前年同期は56百万円の損失）となりました。



## 2025年12月期中間期における報告セグメントについてご説明ください。

2025年12月期中間期における当社グループの報告セグメントは、「保育事業」、「介護事業」、「生活関連支援事業」の3つとなっております。

2020年におきましては、95%以上を保育事業で占めておりましたが、保育事業に加え、介護事業や生活関連支援事業を強化し、M&A等にて事業拡大を行った結果、2025年は保育事業以外の売上割合が約24%と増加しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

### 保育事業

売上高 6,883百万円 (前年同期比 12.5%▲)  
セグメント利益 576百万円 (前年同期比 87.0%▲)

保育事業は、保育所の運営のほか学童保育所の運営等を行っております。

直近では、バイリンガル幼稚園を開園、関東・関西の学童保育の新規運営受託など新たな業態・地域へ事業拡大しており、今期新規に開設した施設は41施設、運営施設は、315施設となりました。

業績については、前年同期と比べて増収増益となりました。認可保育所における公定価格や自治体加算の増加、新規開設施設の売上貢献等が主な要因となっております。

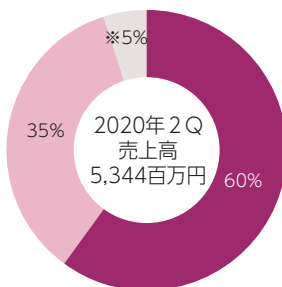
### 生活関連支援事業

売上高 1,193百万円 (前年同期比 4.7%▲)  
セグメント損失 8百万円 (前年同期は29百万円の損失)

生活関連支援事業では、ホームメイドクッキングによる料理教室の運営及びセーフティージャパン・リスクマネジメントによる少額短期保険業を行っております。

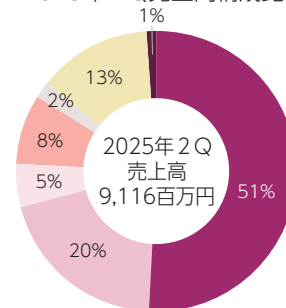
業績については、減収増益 (改善) となりました。ホームメイドクッキングの受講者が減少し減収となりましたが、費用削減や償却費の減少が主な増益要因となっております。

2020年2Q売上構成比



■ 公的保育 ■ 受託保育 ■ その他  
※その他における介護事業の売上比率は17%

2025年2Q売上高構成比



■ 公的保育 ■ 受託保育 ■ その他保育  
■ 高齢者介護 ■ 障がい福祉 ■ 生活関連 ■ その他

### 介護事業

売上高 942百万円 (前年同期比 89.5%▲)  
セグメント利益 9百万円 (前年同期は34百万円の損失)

介護事業は、高齢者介護施設の運営及び障がい福祉施設の運営を行っております。

直近では、新規施設の開設や子会社化、事業譲受によって事業拡大しております。また、当中間連結会計期間において新規に開設した施設が9施設あり、運営施設数は27施設となりました。

業績については、前年同期と比べて増収増益 (改善) となりました。新たに子会社化した会社による利益貢献が主な要因となっております。

### その他

売上高 96百万円 (前年同期比 11.9%▲)  
セグメント利益 2百万円 (前年同期比 39.7%▲)

その他では、主に幼稚園や保育所等に対する保育人材の派遣、テノスクールによる研修事業、ベビーシッター事業、結婚相談所事業等を行っております。

業績については、減収減益となりました。保育士派遣事業の売上及び利益が減少したことが主な要因となっております。

※セグメント別の業績は、セグメント間取引の相殺前の数値です。



## 2025年12月期の業績予想と配当予想のご説明をお願いします。

### ●業績予想

2025年12月期は増収増益予想です。

売上高は17,800百万円（前期比11.1%増）、営業利益は440百万円（同123.4%増）、経常利益は400百万円（同118.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は150百万円（前期は466百万円の損失）を見込んでいます。

なお、2025年12月期中間期決算では、売上高進捗率51.2%、経常利益進捗率70.6%と順調に推移しております。

### 〈増収・増益予想〉

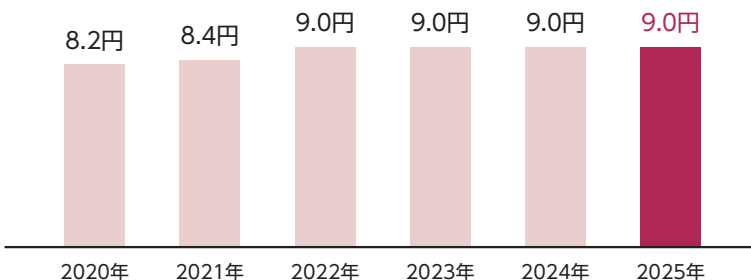
(単位：百万円)	2024年 12月期実績	2025年 12月期予想	対前年増減率	2025年 12月期2Q実績	進捗率
売上高	16,017	17,800	+11.1%	9,116	51.2%
営業利益	196	440	+123.4%	288	62.8%
経常利益	182	400	+118.7%	282	70.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲466	150	-	134	89.6%

### ●配当予想

2025年12月期の配当は1株あたり9.0円を予定しております。

当社は、将来の事業展開と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

### 〈2025年12月期 配当金予想〉



## SDGsへの取り組みについてご説明をお願いします。

当社グループはSDGsの課題解決を重要な経営課題として捉え、ジェンダーに関係なく、個人のライフステージに合わせて働き続けられる社会の実現を目指し、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組みます。

### テノ・グループは「ジェンダー平等」にコミットします

公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
従業員が男女隔てなく世帯・家族内における責任を担える環境を作ること、家事労働を支援します。	男女別育児休暇取得率	2024年 男性 100% 女性 100%	2025年 男性 60.0% 女性 100.0%

テノ・グループの貢献	設定する指標 (KPI)	現状	数値目標
女性のリーダーシップの発揮の機会が担保され、女性目線でのサービス創出が強みになる社風を確立します。	管理職に占める女性の割合 ※( )内は現場含む数値	2024年 32.1% (83.2%)	2030年 50.0% (87.5%)



## 2025年12月期中間期のトピックスについてご説明ください。

2025年12月期中間期のトピックスは以下のとおりです。

住宅型有料老人ホーム



### 住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家香芝」の開設

2025年1月1日に住宅型有料老人ホーム「ほっぺるの家香芝」が新規開設いたしました。

基本情報

開設日：2025年1月1日

所在地：奈良県香芝市上中225番1

室数：37室（2人部屋4室）

最寄り駅：JR和歌山線 志都美駅から徒歩で2分



### フォルテによる株式会社飛翔、株式会社愛翔会の株式取得

(持株比率：100%)

(目的) 介護事業（高齢者介護事業）の拡大

2025年1月10日に連結子会社であるフォルテが株式会社飛翔、株式会社愛翔会の株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）いたしました。

**【事業内容】**

飛翔：住宅型有料老人ホーム2施設の運営、訪問介護

愛翔会：住宅型有料老人ホーム2施設の運営、訪問介護、訪問看護



### ウィッシュによる介護事業（障がい福祉事業）の譲受

(目的) 介護事業（障がい福祉事業）の拡大

2025年4月1日に連結子会社である株式会社ウィッシュが児童発達支援・放課後等デイサービス4施設の運営を譲受いたしました。

**【事業内容】**

愛知県岡崎市の児童発達支援・放課後等デイサービス4施設の運営

- チャイルドウィッシュおろ（放課後等デイサービス）
- チャイルドウィッシュくらまえ（放課後等デイサービス）
- チャイルドウィッシュしんでん（児童発達支援・放課後等デイサービス）
- チャイルドウィッシュかもだ（放課後等デイサービス）



チャイルドウィッシュおろ



チャイルドウィッシュくらまえ



## Q tenoのPurposeと長期ビジョンについてご説明ください。

「わたし、選んで、生きていく。」をキーメッセージに、女性が育児・家事・介護をしても働き続けるためには、たくさん選択肢が必要だと思っています。そのような意味で、私たちはがんばっている女性たちを私たちの「手の」ぬくもりで支えていきたいと考えており、それが会社の存在意義、Purposeだと思っています。

また、当社のPurposeについて、以下のリンクもご参照いただけますと幸いです。

<https://youtu.be/2DTmnbxt9cM>



## [teno VISION 2030]

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

### 働き手視点

- >適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- >グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- >客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- >人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- >グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの実現により、  
選ばれる企業集団へ

### 顧客・クライアント視点

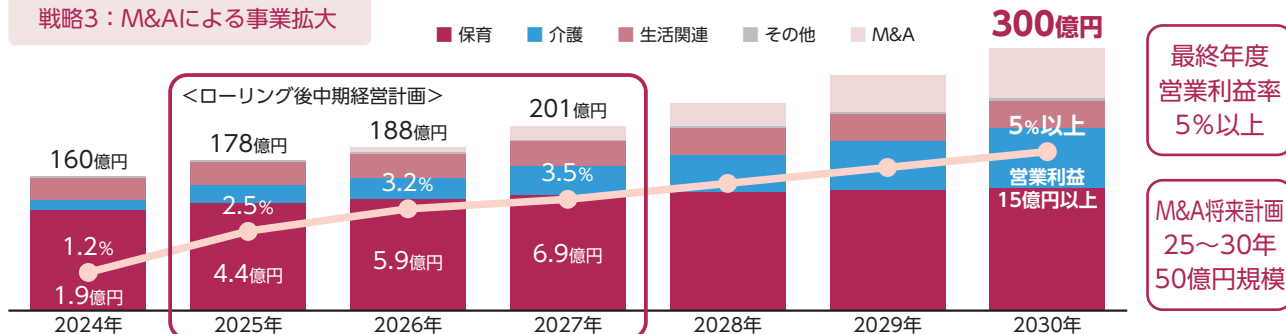
- >便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- >時代のニーズに合った付加価値の提供
- >テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- >極めて透明な情報開示と財務の健全性
- >対価に対するサービスレベルが適切である
- >個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

### 成長戦略

- 戦略1：主力事業の強化
- 戦略2：介護事業の強化
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

<2030年の売上高、利益目標を設定>

売上高	300億円
営業利益率	5%以上





## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応についてご説明ください。

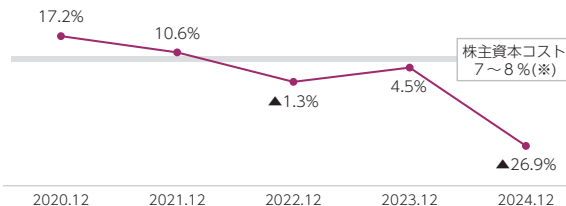
当社の資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応については以下のとおりです。

### 【現状分析・評価（資本収益性、市場評価）】

- 2022年以降、ROEが当社想定資本コストを下回って推移
- PBRは1倍程度で推移しており、2020年と比べると低位

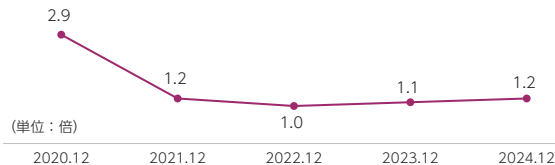
> 収益改善は大前提とし、フリーキャッシュフローの増加や資本構成の適正化にも注力することで、より一層の成長性を示していくことが必要であると認識

#### <株主資本コストとROE>



(※)CAPMICに基づき当社推計 (株主資本コスト = リスクフリーレート + 市場リスクプレミアム × ベータ(B))

#### <PBR>



(単位：倍)

### 【企業価値向上のための今後の取組み】

- 長期ビジョン「teno VISION 2030」の実現  
長期的な成長期待の醸成
- 収益性の向上 (ROEの向上)  
保育事業の強化、介護事業の強化、M&Aによる事業拡大

■ 収益と社会貢献のバランスを常に意識し、企業価値向上へ

#### 1 主力事業の強化 事業拡大

■ 保育事業（公的保育・受託保育）における事業拡大

- 新規開設は、継続して実施し成長ドライバーである施設増加へ注力
- 「小1の壁」問題解決に向け、学童保育の新規開設にも注力

#### 2 介護事業の強化 収益改善

■ 介護事業に注力し、保育事業に次ぐ事業へ成長させる

- 新規開設を計画的に実施
- 施設及びサービス利用者のニーズを把握し、副次サービスの提供を検討

#### 3 M&Aによる事業拡大 成長戦略

■ 今後の成長ドライバーとして、M&Aは重要な施策の一つ

- 24.12期 営業利益率 1.2%  
● 保育事業や介護事業は、展開エリアや規模を考慮しながら積極的に実施
- 働く女性のライフステージの支援につながる新規事業開拓時においても実施
- 取得費用など一時的な費用が発生するが、対象事業の将来性やシナジーを検討し実施

収益性の向上

- 収益性の向上 (ROEの向上)

保育事業も拡大させつつ、更なるCFの創出に向け注力  
> 主力である保育事業で獲得したCFを介護事業やM&Aへ資金投下

- IR活動の強化

企業価値向上のための取り組みの認知拡大のため注力  
> 投資家向け決算説明会、会社説明会の開催・参加頻度を増やす  
> 情報開示の充実  
> 投資家との積極的な対話の実施、フィードバックの活用



## 最後に株主の皆さまへ一言お願いします。

2025年12月期中間期の決算は増収増益となり業績予想に対して順調に推移しており、引き続き長期ビジョンの実現、収益性の向上を目指して取り組んでまいります。

また、当社は今後もPurposeを基に社会貢献と収益の両輪で企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 会社概要

商号 株式会社テノ・ホールディングス  
資本金 455百万円  
所在地 〒812-0036  
福岡県福岡市博多区  
上呉服町10番10号  
呉服町ビジネスセンター5F  
主な事業内容 子会社の経営指導

## 役員

代表取締役社長 池内 比呂子  
取締役 岡田 基司  
取締役(社外) 渡辺 顕好  
取締役(社外) 柳瀬 隆志  
監査役(常勤) 小田 隆史  
監査役(社外) 古賀 光雄  
監査役(社外) 宮野 祐輔

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

科目	2024年12月期	2025年12月期
	2024年12月31日	2025年6月30日
流動資産	4,438	4,763
固定資産	5,320	5,842
資産合計	9,759	10,605
流動負債	4,947	5,236
固定負債	3,076	3,540
純資産	1,735	1,828
負債・純資産合計	9,759	10,605

## 連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

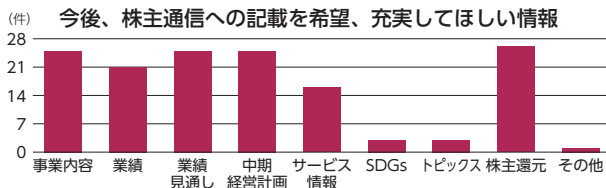
科目	2024年12月期	2025年12月期
	2024年1月1日から 2024年6月30日まで	2025年1月1日から 2025年6月30日まで
売上高	7,980	9,116
営業利益または営業損失(▲)	▲1	288
経常利益または経常損失(▲)	▲8	282
親会社株主に帰属する中間純利益または 親会社株主に帰属する中間純損失(▲)	▲56	134

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2024年12月期	2025年12月期
	2024年1月1日から 2024年6月30日まで	2025年1月1日から 2025年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	371	525
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲845	▲301
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲473	223
財務活動によるキャッシュ・フロー	566	13
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	92	237
現金及び現金同等物の期首残高	1,862	2,095
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,955	2,333

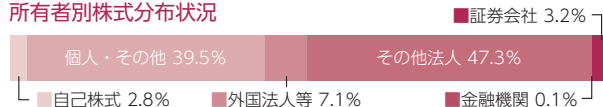
2024年12月期株主通信にて実施いたしました、株主アンケートにおいて今後の株主通信へ掲載を希望される内容について、以下の回答をいただきました。本株主通信では、事業内容の説明をセグメント別の業績に記載することといたしました。



## 株式の状況 (2025年6月30日現在)

発行可能株式総数 13,320,000株  
発行済株式の総数 4,701,300株  
株主数 2,318名

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内  
期末配当金 毎年12月31日  
株主確定日 (中間配当をする場合は6月30日)  
単元株式数 100株  
公告方法 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。  
公告掲載URL <https://www.teno.co.jp/>  
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場  
福岡証券取引所 本則市場  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
お問い合わせ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
tel: 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
受付時間 平日9:00~17:00  
詳しくは、下記のページにてご確認ください。  
<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

株主の皆さまの声を聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー 7037pUhs



スマートフォンから  
カメラ機能で  
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
<https://www.pronexus.co.jp/>

アンケートのお問い合わせ  
「コエキク事務局」  
[koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)